

2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月19日

 イメージ情報開発株式会社

大証JASDAQ：証券コード 3803

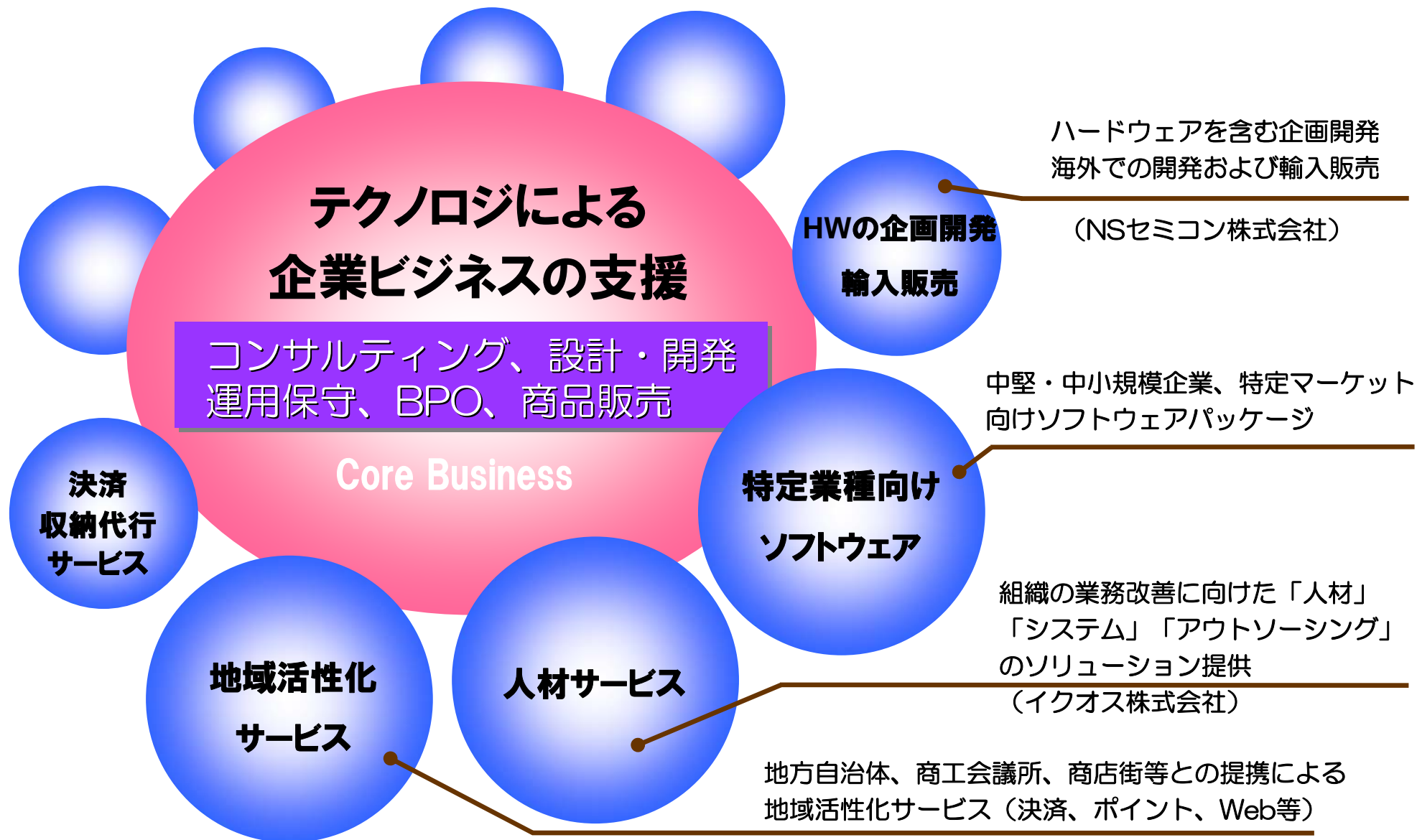
I グループ概要

II 2011年3月期 第2四半期の決算概要

III 2011年3月期 通期の見通し

【設 立】	1975年（昭和50年）10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 拓史
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都港区芝大門2-10-12
【子 会 社】	2社（NSセミコン株式会社、イクオス株式会社）
【沿 革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年 4 月 コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年 4 月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年 4 月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年 9 月 インターネットデータセンター開設 平成18年 4 月 大阪証券取引所へ上場(現JASDAQ)へ株式上場 平成19年 5 月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年 7 月 NSセミコン株式会社を子会社化 平成21年12月 イクオス株式会社設立

- システム開発を中心とした総合サービスによる『企業ビジネスの支援』、シナジーの得られる製品・サービスで構成します。



I グループ概要

II 2011年3月期 第2四半期の決算概要

III 2011年3月期 通期の見通し

■ 当第2四半期業績

◎ 売上高 388百万円(前年同期比+23.5%)

電子機器販売等、新規事業による増収

◎ 経常損失 124百万円(前年同期:経常損失31百万円)

新規事業展開に伴う営業費用増加による損失拡大

◎ 純損失 139百万円(前年同期:純損失35百万円)

「資産除去債務に関する会計基準」の適用による影響
市況の低迷を受けて投資有価証券評価損を計上

※当資料に記載されている業績等の数値のうち、
単体/連結の記載が無いものについては連結の数値となります。

■ 事業進捗状況

IT総合ソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

◎ IT支援サービスの推進

- ・ 営業強化するもシステム構築案件が減少
- ・ 組織一元化のため中部拠点（名古屋営業所）を集約
- ・ 人材教育、スマートフォンソリューションの強化

◎ ハードウェア関連サービスの推進

- ・ 電子機器、LED等のソリューション販売が堅調に推移

◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・ 段ボールメーカー向け基幹システム『i-case（アイケース）』製品機能の拡充、プロモーション強化（TOKYO PACK 2010出展）

◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 商工会議所向けサービスの利用会議所数が70を突破
- ・ 人材関連サービスを開始
- ・ 医療機関向けシステム・BPOサービスを開始

■ 経営インフラの強化を実施

◎ 管理体制の強化

全社組織の見直し、プロジェクト管理体制、要員管理体制を強化
不採算プロジェクトの低減

■ 企業投資

◎ iPhoneアプリケーション開発ベンチャーのパンカク社に出資

パンカク社の事業（主に同社の主力事業である「PANKIA」事業）を
支援するとともに、スマートフォン技術を活用した新たなサービス領域への
進出を計画

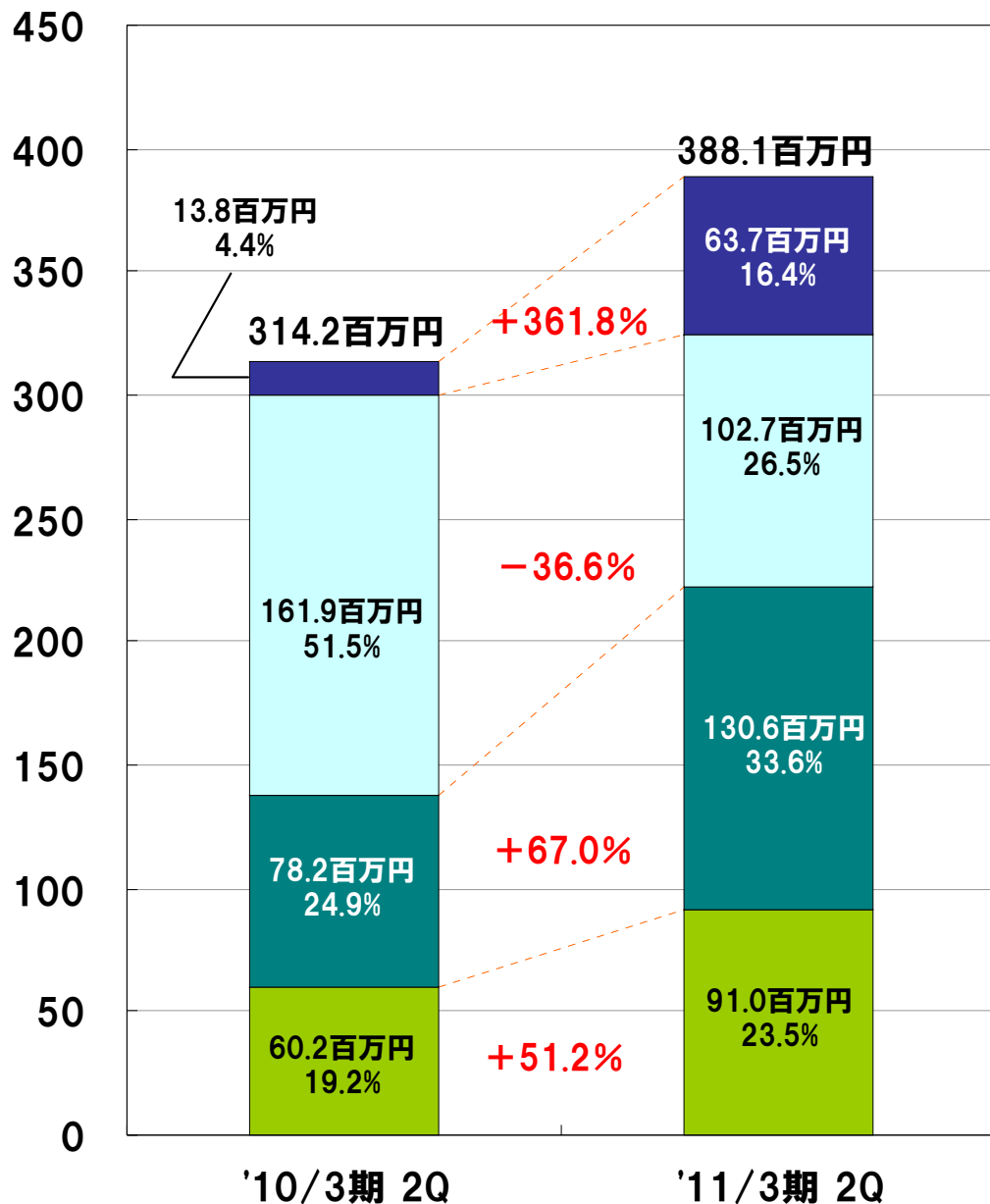
■ 前年同期比で売上23.5%増、営業費用の増加により損失拡大

【単位：百万円】

	‘11/3期2Q	‘10/3期2Q	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	388	314	73	23.5
売上総利益	61	119	△58	△48.8
販管費	202	157	44	28.3
営業損失(△)	△141	△38	△102	—
経常損失(△)	△124	△31	△93	—
当期純損失(△)	△139	△35	△104	—

- ✓売上増：システム構築案件の減少、新規事業（ハードウェア販売、人材サービス等）による増加
- ✓営業損失：システム構築案件の減少等による売上総利益減、新規事業の立ち上げに伴う販管費の増加により損失拡大
- ✓当期純損失：「資産除去債務に関する会計基準」の適用による特別損失の計上及び市況の低迷による株式価値下落のため投資有価証券評価損を計上

【単位:百万円】



商品販売

システム構築案件におけるサーバ等の販売増加、LED等の電子機器販売の増加

コンサルティング/設計/構築

システム構築案件の大幅な減少

運用/保守

大型のシステム構築案件の完了により増加

BPO/サービス

人材サービス等の新規サービス展開により増加

【単位：百万円】

	‘10/09末	‘10/03末	増減額	増減率 (%)
資産合計	1,047	1,276	△228	△17.9
流動資産	833	1,079	△245	△22.8
固定資産	214	197	16	8.5
負債合計	267	363	△96	△26.6
流動負債	171	245	△74	△30.2
固定負債	95	117	△22	△19.1
純資産合計	780	912	△132	△14.5
負債純資産合計	1,047	1,276	△228	△17.9

- ✓ 流動資産：現預金614百万円、受取手形及び売掛金135百万円
- ✓ 固定資産：投資有価証券79百万円、敷金及び保証金77百万円
- ✓ 流動負債：買掛金52百万円、賞与引当金37百万円
- ✓ 固定負債：退職給付引当金76百万円、負ののれん18百万円
- ✓ 純資産：資本金467百万円、資本剰余金510百万円、利益剰余金△100百万円、自己株式△95百万円

【単位：百万円】

	‘11/3期2Q	‘10/3期2Q
営業活動によるキャッシュフロー	△148	43
投資活動によるキャッシュフロー	△82	192
財務活動によるキャッシュフロー	△0	△26
現金及び現金同等物の増加額	△230	209
現金及び現金同等物の期末残高	211	394

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前四半期純損失136百万円、仕入債務の減少額103百万円
主に損失の計上に伴う資金流出
- ✓ 投資活動CF：有価証券の取得による支出50百万円
投資有価証券の取得による支出25百万円
- ✓ 財務活動CF：過年度の未払配当金支払のみ、ほぼ動き無し

I グループ概要

II 2011年3月期 第2四半期の決算概要

III 2011年3月期 通期の見通し

IT支援サービス(システム案件)は引き続き厳しい環境 新規サービス分野(人材、ハードウェア、医療)における増収と収益化

- IT支援サービス
新規案件の受注活動を強化
- 自社プロダクトサービス
『i-case (アイケース)』のプロモーション強化
- 人材サービス
人材を中心とした、企業組織改革に向けた総合ソリューション提供
- ハードウェア関連サービス
環境分野をテーマとし、LED、LSI等を中心に販売を強化
- 医療機関向けサービスの推進
医療機関向けシステム、決済、事務代行等のサービス提供を推進

■ 新規事業の立上げ及び各種施策の成果実現化へ推進(下期の増収及び黒字化)

【単位：百万円】

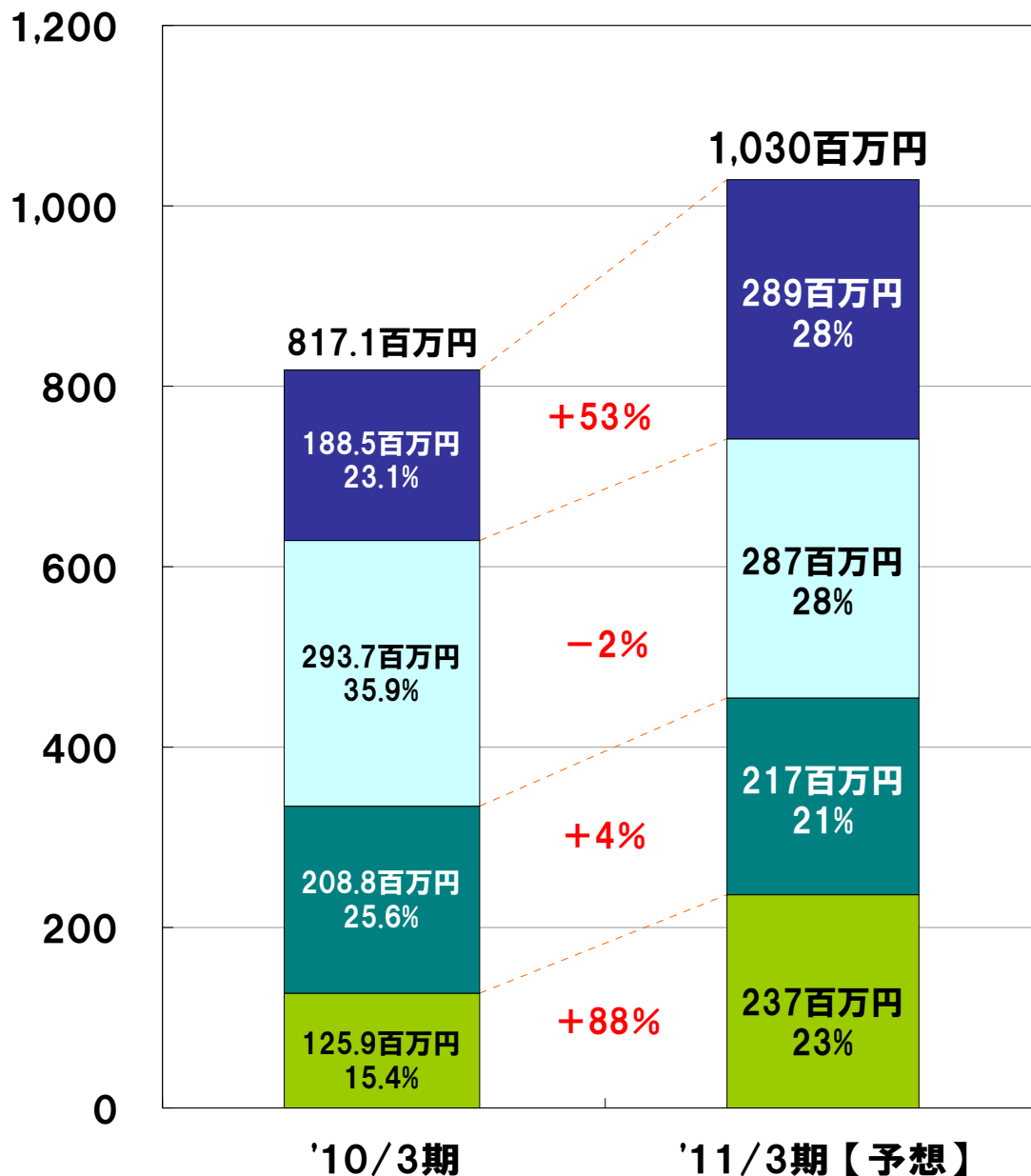
	‘10/3期 (実績)	‘11/3期 計画			
		上期 (実績)	下期	通期	増減率(%)
売上高	817	388	642	1,030	26.1
営業利益	△92	△141	0	△141	—
経常利益	△70	△124	25	△99	—
当期純利益	△165	△139	25	△114	—

- 事業立上げ・拡大による増収
 - ・ 新規サービスの推進、既存サービスとのシナジーを創造
- 下期黒字化（売上拡大による増益、収益化）
 - ・ 全事業の基盤となる技術の蓄積（教育）
 - ・ 新規サービスへの効果的人員配置を含むプロジェクト管理の強化
 - ・ 効率的なグループ経営の推進

2011年3月期の計画(売上構成)



【単位:百万円】



商品販売

- ・「i-case」の販売増
- ・ハードウェア・LED等の販売増

コンサルティング/設計/開発

- ・上期受注が低迷、下期回復見込みであるが年度で微減見込み

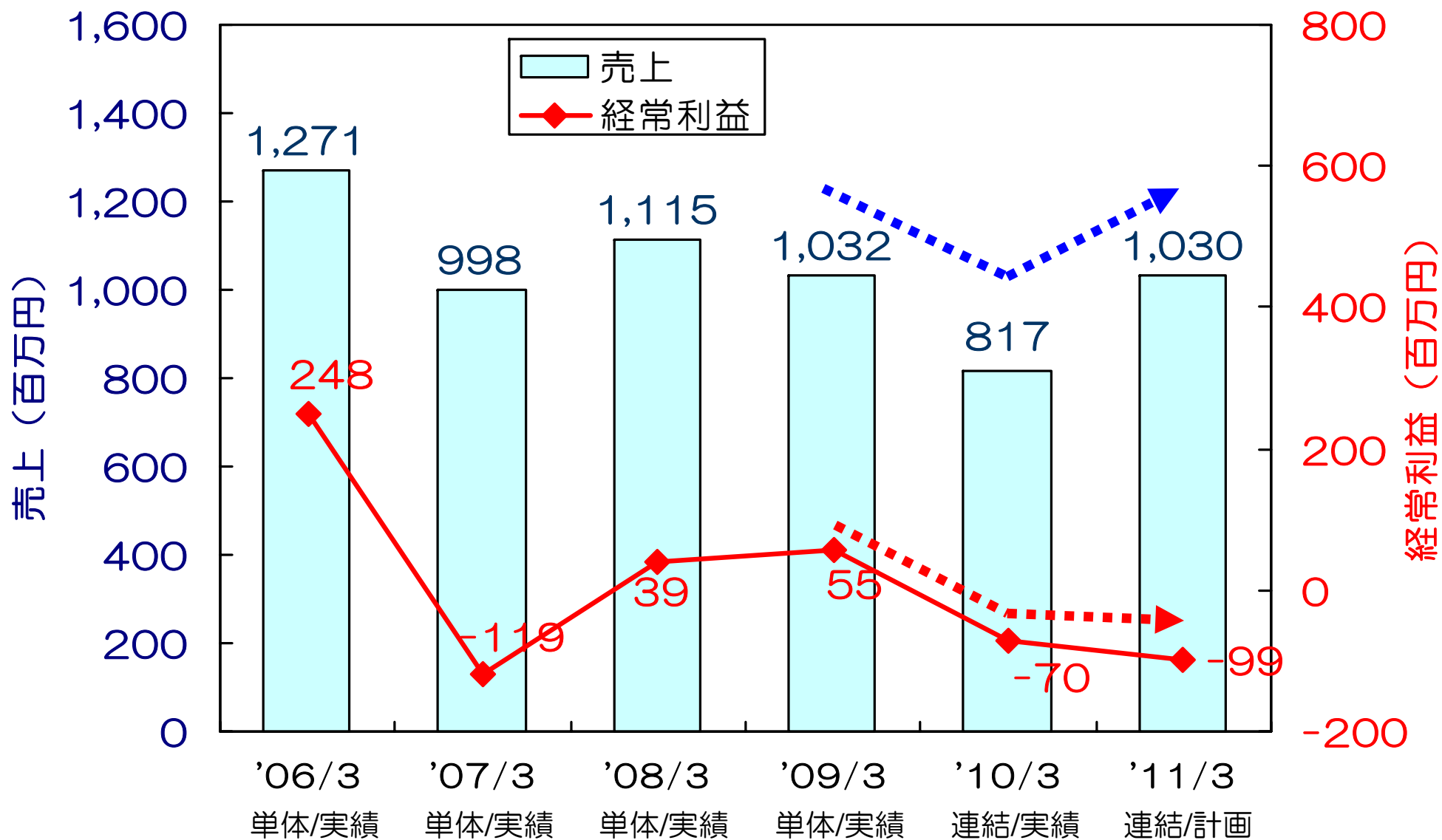
運用/保守

- ・システム案件減少の影響を商品販売増加による商品保守増でカバー

BPO/サービス

- ・商工会議所向けサービス、決済サービスの堅実な積み上げ
- ・人材サービスの立ち上げ
- ・医療機関向けサービスの開始

■グループでの売上V字回復、組織構造の改革による黒字転換への足場構築
継続的成長に向けた事業推進



本日は、ありがとうございました。

〈お問い合わせ先〉

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

取締役経営管理室室長 百瀬 哲

TEL : 03 - 5733 - 5631

FAX : 03 - 5733 - 6038

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。